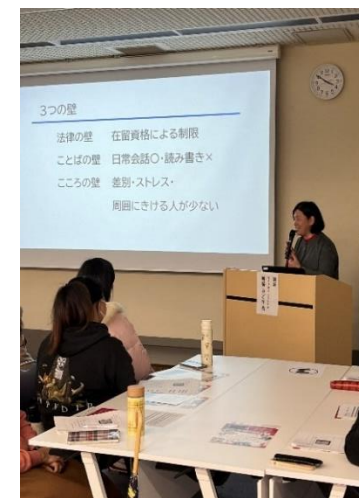
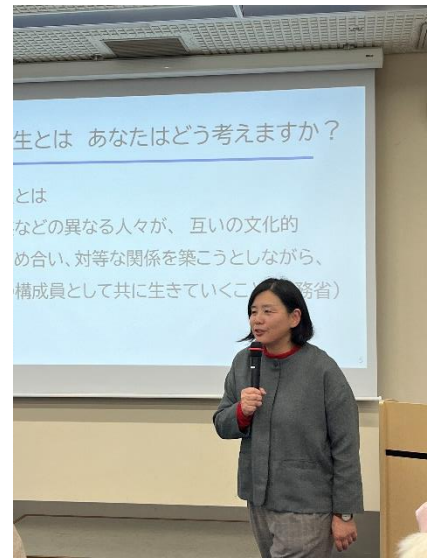


<第7回 多文化理解講座報告> “世田谷区の「多文化共生」を考える”

2024年1月20日土曜日、第7回目の多文化理解講座「多文化理解ゲームで学ぼう！世田谷区の「多文化共生」を考える」を開催しました。講師には、NPO法人CINGA（国際活動市民中心）の新居みどり様をお迎えしました。前半はグループに分かれて、トランプを使った「多文化理解ゲーム」を行いました。オブザーバーの方を含めて30名にご参加いただき、6人ずつ5チームに分かれて、スタート。和気あいあいと盛り上がる中、途中からは一言も話してはいけない、言いたいことはジェスチャーのみ、勝ち負けで席を移動するなど、少し複雑なルールに変更、会場内が静まりかえる中、皆様真剣な面持ちで数回のゲームが進行していきました。最後に元のテーブルに戻って感想を話し合う時間には、皆様、思いがあふれるように会話がはずみ、会場内は一気ににぎやかに。言葉で伝えられない中で感じるもどかしさや違和感、時には不安や怒りなど多くの感情が沸き起こったようです。自分が「当たり前」と思っていたことがそうではなくなり、マイノリティの立場になることの心細さや、自己主張する勇気を持つてみるなど、ゲームをとおして異文化理解の疑似体験をしたようだったとの感想もありました。自分の常識が通用しない時、どういう気持ちになるのかを体感することで、異文化に出会った時の対処法を考える



きっかけの場となりました。

後半は、新居様によるレクチャー、「多文化共生を考えるための基礎知識」が行われました。日本における在住外国人増加の現状、それにとまなう各地域での外国人への相談支援事業や日本語学習支援活動、日本人側のやさしい日本語学習の必要性など、多文化共生と地域づくりについての基本的な考え方を学びました。特に、在住外国人が突き当たる3つの壁として言及された「法律」「ことば」「ところ」の latter two は、トランプでのゲーム体験と重なり、多文化理解の「根本にあるもの」として受け止められました。

今回の講座は、世田谷区が多文化共生社会実現に向けた、体験学習の場としても有意義なものとなりました。

